

Yoshitaka Amano

- 1952年 3月26日、静岡市に生まれる
- 1967年 タツノコプロダクションに入社
「科学忍者隊ガッチャマン」「みなしごハッチ」「タイムボカンシリーズ」等に関わる
作画監督を経て、天野喜孝名義でキャラクターデザインを専任
- 1981年 SFマガジンに「トワイライト・ワールズ」(早川書房)連載開始
イラスト界にデビュー
- 1982年 1977年の吉田竜夫の死を経て、タツノコプロダクション退社、独立
その後、天野喜孝に改名
- 1983年 第14回星雲賞受賞。以後第17回まで4年連続受賞
「吸血鬼ハンターD」(著:菊地秀行)のイラストを担当
- 1984年 初の画集「魔天」(朝日ソノラマ)刊行。以後多数の画集刊行
- 1985年 「グイン・サーガ」(著:栗本薫)のイラストを担当
- 1987年 「ファイナルファンタジー」(SQUARE)のキャラクター&ビジュアルコンセプトデザイン担当
- 1989年 東京・有楽町マリオンにて初の個展「飛天」開催
- 1990年 演劇「なよたけ」の舞台美術(坂東玉三郎演出、日生劇場)を担当
- 1991年 国内の版画工房でリトグラフの制作をはじめ
- 1992年 福井県・井村君江妖精美術館スタンドグラス制作
「楊貴妃」の舞台美術を担当
- 1994年 大阪にて初のリトグラフ展開催
- 1995年 パリ、マージュ工房にてリトグラフの制作開始
- 1996年 ニューヨークのソロプレス(工房)でリトグラフの制作開始
- 1997年 ニューヨークSoHoにアトリエを構え、版画工房Greene Street Work Shop設立
- 1998年 東京・上野の森美術館にて個展「THINK LIKE AMANO」開催
ブリュッセル国際ファンタスティック映画祭にて個展開催。「1001 Nights」
ロサンゼルスフィルハーモニックの定期演奏会にて公開されたフィルム
ハーモニック第一弾作品“1001 Nights”の制作監修・コンセプトデザイン担当
福島県・金山町空冷橋ブロンズ像デザイン
- 1999年 ニューヨークのエンジェル・オーレンサン・ファンデーションにて 個展「HERO」開催
「THE SANDMAN:The Dream Hunters」(DC Comics/ニール・ゲイマン著)刊行
この作品でアイズナー賞最優秀漫画関連書籍部門などさまざまな賞を受賞
- 2001年 映画「陰陽師」の衣裳デザインを担当
- 2003年 3月、ドイツ ケルンにて個展開催
4月、「ファイナルファンタジーXI ジラードの幻影」ビジュアルコンセプトデザイン
7月、ドイツ ケルンにて個展開催
10月、映画「陰陽師II」のキービジュアル・コンセプトデザイン・衣装デザイン
- 2007年 映画「ユメ十夜」の第7夜の監督を担当
- 2013年 ミヅマアートギャラリーで個展「TOKYO SYNC」を開催
- 2014年 熊本市現代美術館で「天野喜孝展 想像を超えた世界」を開催
- 2021年 日蓮聖人降誕800年慶讃事業として、「法華経画」を制作